「令和７年度木曽三川連合総合水防演習」に参加しました

令和７年５月２５日（日）前夜の雨で足元の悪い中、長良川右岸 鵜飼い大橋下流河川敷（岐阜市長良雄総地先）で「令和７年度 木曽三川連合総合水防演習」が開催され、６７団体、約１，５００人が参加しました。中部地域づくり協会は、防災エキスパートによる災害報告や展示ブースでの出展を行いました。

展示ブースでは、岐阜市に甚大な被害を及ぼした９．１２豪雨や今年２５年の節目を迎える東海豪雨などのパネル展示、ＶＲによる浸水疑似体験やＡＩ語り部（伊勢 湾太郎）との対話体験を行いました。学生の方にもＶＲを体験して頂き、対話体験では、「当時の風の様子を分かりやすく教えてくれた。」との感想もあり、水害を自分事として捉える機会になった様でした。また、完成したばかりの防災啓発冊子『近年の豪雨災害記録集・２０２４ 自然に学び、自然に備える』の配布も行いました。

防 災 エ キ ス パ ー ト

展 示 ブ ー ス